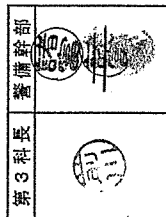










警備システム赤外線センサー等据付役務



警備隊長	副隊長	後支隊長	警備班長	工事企画	管財	電気係長	作成者
							
件名 警備システム赤外線センサー等据付役務							
図面名称 表紙							
図面番号 1/5							
作成年月日 4. 1. 28							
部 隊 陸上自衛隊宮古警備隊後方支援隊警備班							

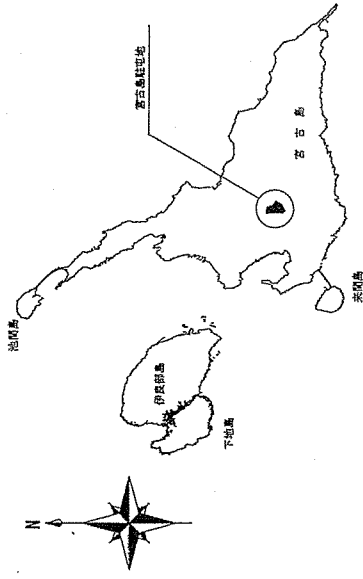
仕様書

- 1 件名 警備システム赤外線センサー等据付役務
- 2 場所 宮古島市上野字野原83-5 陸上自衛隊宮古島駐屯地
- 3 概要
 - 赤外線センサー設置 4 箇所
 - 外箱フェンスセンサー設置 1 式
 - 配線敷設 1 式
 - 設置後の設定、動作確認 1 式
- 4 一般事項
 - (1) 本仕様書は「警備システム赤外線センサー等据付役務」について適用する。
 - (2) 本作業は、本仕様書、国土交通省監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」及び各製造メーカーの取扱説明書等の要領に基づき実施する。
 - (3) 本仕様書について、作業中疑義が生じた場合は監督官と協議し、その指示に従うものとする。
 - (4) 本作業の写真はデジタルカメラ（総画素数80万画素数以上及びファイル形式JPEG）を使用し、着手前、作業中、完了時及び監督官の指示する箇所を各機器・工程ごとに撮影し、A4版工簿用アルバムに整理して1部提出する。
 - (5) 作業中における火災予防、安全管理等は十分に注意し受注者側の責任において実施すること。
 - (6) 在来施設等の保護には十分注意を払うものとし、汚損及び破損した場合は受注者側の責任で速やかに原形に復旧すること。
 - (7) 本作業に際して仕様書に明記無き事項についても技術上当然処置すべき事項は受注者側の負担において実施する。
 - (8) 作業着手時期及び工程等は、事前に監督官と打合わせを実施するものとする。
 - (9) 本作業に必要な工具、計測機器等の器材及び消耗品等は、請負者の負担とする。
 - (10) 入出門及び交通統制等、駐屯地内での行動は、駐屯地諸規則及び監督官の指示に従うこと。

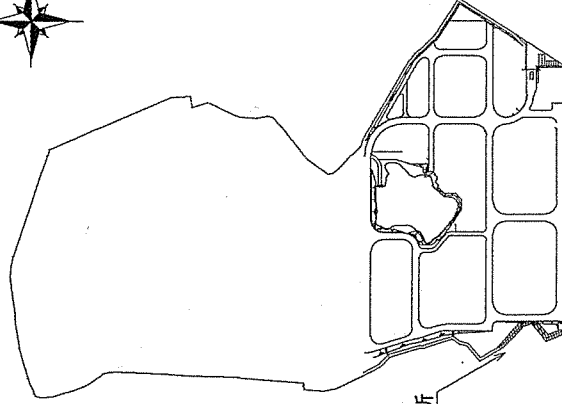
5 特記事項

- (1) 据付に関し、メーカーの取扱説明書及び据付要領を熟知したものが、行うものとする。
- (2) 据付完了後は、各機器の動作確認及び試運転調整を実施するものとする。
- (3) 据付の実施に際し、外箱整備工事の受注者との調整を行うものとする。
- (4) 据付を実施する赤外線センサー等は官給品支給とし、官給品リストによるものとし、その他必要な資材は、請負者の負担において準備するものとする。

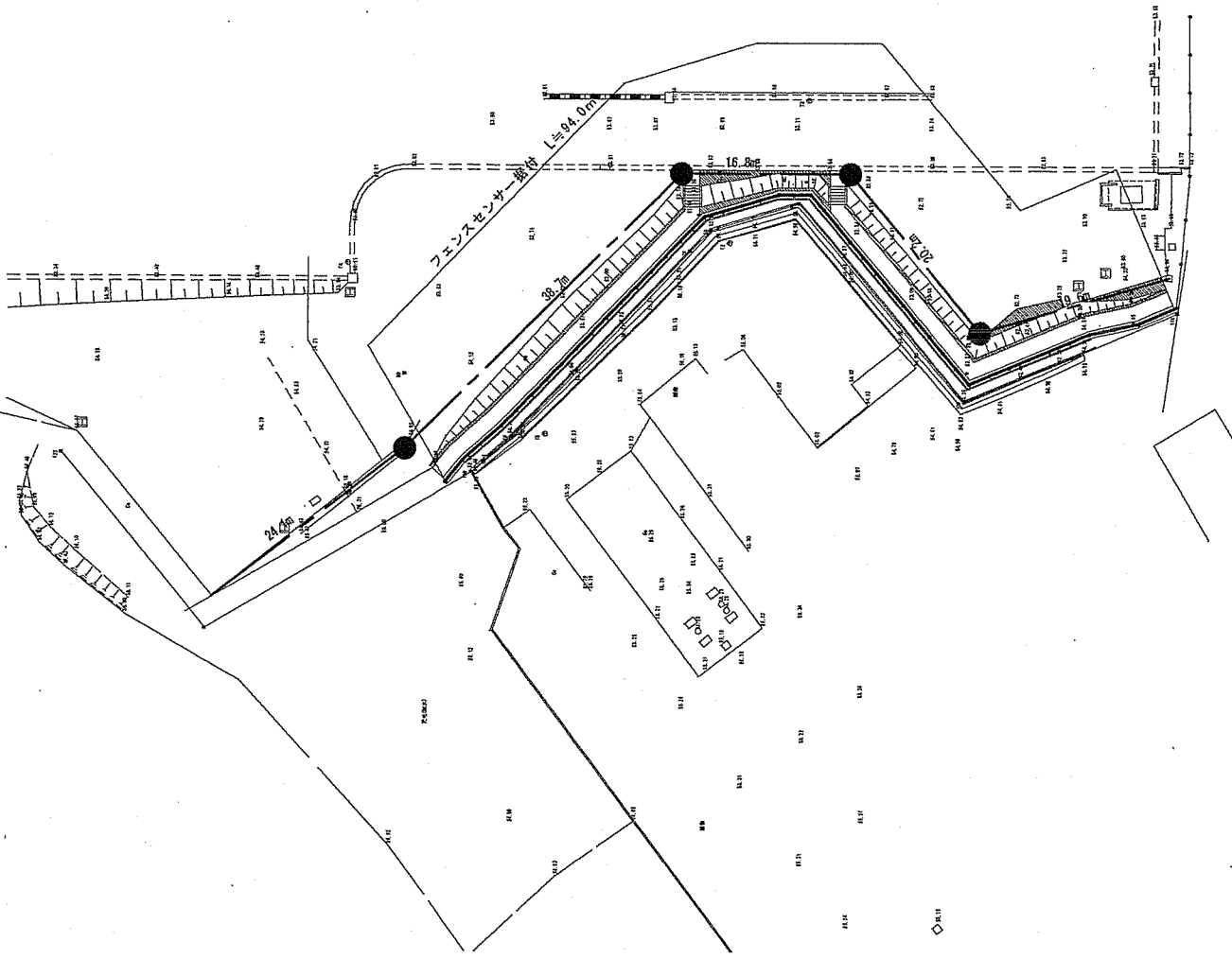
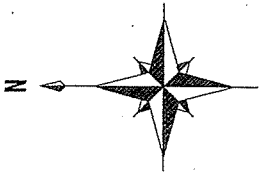
品名	メーカー	型番	数量
赤外線センサー	セコム㈱	IN-F0580	7台
電力センサー	セコム㈱	FN-S0030	5台
金鷹製プルボックス	—	200×150	4個
金鷹製プルボックス	—	150×100	3個
フェンスセンサー取付金具	—	377L型7ヶ方L	50個
配管材	—	—	1式
配管支持金具	—	—	1式



本図面 1/5000 SCALE



件名	警備システム赤外線センサー等据付役務
図面名称	仕様書
図面番号	2/5
部	陸上自衛隊宮古警備隊後方支援隊警備班
作成年月日	4.1.28

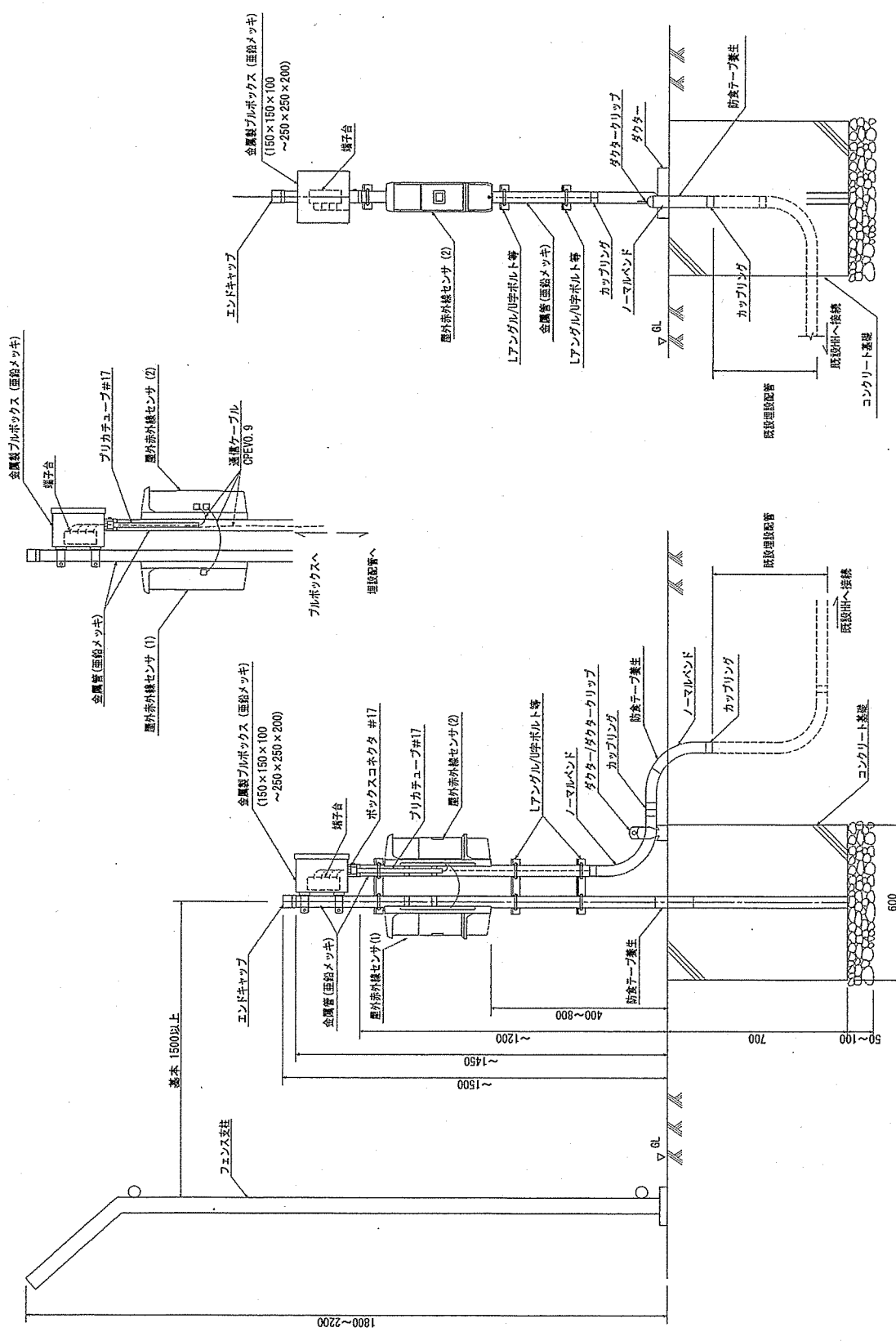


凡例

記号	名称	備考
	外部フェンスセンサー架台位置	
	屋外赤外線センサー	
	配線経路	

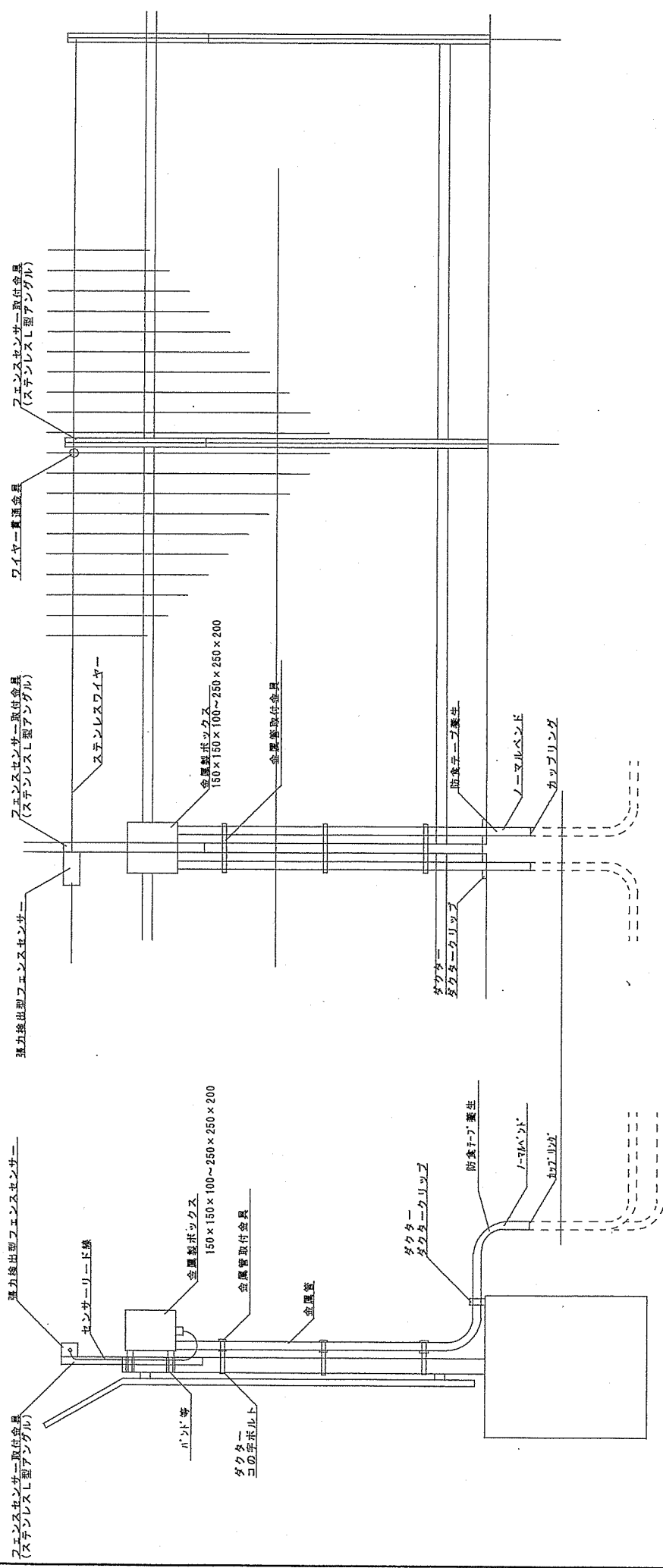
平面図 1:500

件名	警備システム赤外線センサー等据付役務		
図面名称	平面図・標準図		
図面番号	3/5	作成年月日	4.1.28
部隊	陸上自衛隊宮古警備隊後方支援隊警備班		



赤外線センサー標準図

件名	警備システム赤外線センサー等据付役務
図面名称	赤外線センサー標準図
図面番号	4/5
作成年月日	4.1.28
部 隊	陸上自衛隊宮古警備隊後方支援隊普通班



張力式フェンスセンサー

件名	警備システム赤外線センサー等据付役務		
図面名称	張力フェンスセンサー標準図		
図面番号	5/5	作成年月日	4. 1. 28
部 隊	陸上自衛隊宮古警備隊後方支援隊営繕班		